



## 「終末における聖霊様のお働き」

～必ず神の時は訪れる～

「見よ、わたしは新しい事をなす。やがてそれは起る。あなたがたはそれを知らないのか。…」  
イザヤ43章19節a

本日はペンテコステ礼拝です。それは、教会が誕生した記念日をお祝いするときです。

今から約2000年前、主の弟子たちは、主から頂いていた約束を待ち望んでいました。その約束とは、すべての人々に神ご自身を聖霊という形でお与えになるということでした。神様ご自身は人の中に住みたいと永遠の昔から願っておられましたが、それがイエス様の誕生、十字架、復活、昇天を通して実現されました。まるで、イエス様の人生そのものが、神が人間の中に住まわれるという目的を達成するためのものだったかのようです。

世界の科学者たちが集まって「世界終末時計」というものと1947年に作りました。今その現物はシカゴ大学にあるそうですが、2017年、トランプ大統領の発言によって、1947年当初は7分前だった時計が今は、2分半前になっているそうです。今までの最高は1953年にソ連が水爆実験をしたときが2分前でしたが、それ以来、限りなく近づいているということです。人々はそのような時計を示すことによって、どうかして世の終わりを回避しようとして努力しているわけですが、本日の聖書箇所にかかれてある通り、いつかこの天地には終わりが来る、しかし、主が語られたことは必ず実現するということです。

歴史のことを英語では、「History」と書きますが、これは、「His」＝「神の」（「his」のイイチが大文字の「H」だから）+「Story」ということから来ていることから分かるように、歴史は、すべて神様のご計画が、神様の実行によって実現しています。この世の中も、神様のご計画が、神様のタイミングでなされています。そのことを人間たちはもっと謙虚に恐れをもって受け止めないといけません。自分たちの力で、神なしで、神抜きで、実現することができると思うことは何という傲慢な考え方なのでしょうか？しかし、それをやっているのが、私たち人間であり、私たち一人ひとりなのです。何という愚かな存在でしょうか？

だからこそ、イエス様は弟子たちに、「何かをする前にまず待ちなさい」、「神の時を、神の約束を待ちなさい」とおっしゃいました。「決して自分の思い付きや、一時の決断で前進してはなりません。明確な神の時を待ちなさい」とおっしゃいました。それは苦しい、辛い時間だったと思います。私たちはどうでしょうか？神の明確な時を待っているでしょうか？神の声を聴いているでしょうか？